

1. 目的

建設業界においては、担い手不足が懸念され、若手の技術者や技能労働者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題であり、若年技術者等の入職促進策として、建設現場における「週休2日」の確保などによる働き方改革の実現が求められている。

建設現場における「週休2日」を確保していくに当たり、現場における現状の課題や問題点を把握するため、モデル工事を実施する。

2. 週休2日とは

本モデル工事における「週休2日」とは、工期内において、土日・祝日に関わらず、**週休2日(4週8休)**相当の現場閉所を行うことをいう。(年末年始6日間及び夏期休暇3日間は現場閉所日から除く)

※ただし、「週休2日の確保」の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日の実施にあたっては、その趣旨に沿うよう努めるものとする。

3. 適用時期

・令和3年(2021年)8月1日以降に入札を行う工事より適用

4. 対象工事

- ・工期設定支援システムを活用するなどして週休2日による工期設定を行った工事(災害復旧工事、緊急対応工事及び工期末に制限のある工事などは除く)を対象
- ・週休2日の実施については、契約後、受注者が選択(施工者希望型のみ)

5. 成績評価および経費の補正

- ・週休2日(4週8休)の現場閉所を履行確認のうえ、工事施行成績評価で加点(1点を加点)
- ・土木工事・空港工事及び漁港工事は、当初予定価格から4週8休以上を前提とした補正係数を各経費に乘じ、履行後の現場閉所の達成状況に応じて各経費を補正
- ・土木工事・下水道(管路)、空港工事及び航空灯火電気設備工事の市場単価について週休2日の補正対象とし、現場閉所の実施状況に応じた補正係数を適用
- ・漁港工事の市場単価を適用する工種について、労務費を補正の対象(4週8休以上)

モデル工事実施の流れ

公告段階

- ・入札公告文および特記仕様書に「週休2日モデル工事」であることを明記する。

契約後

- ・受注者は「週休2日」の取組意思を表明し、施工協議簿に協議記録を残す。
- ・計画工程表(休日取得計画)を施工計画書に添付し、工事監督員へ提出する。

工事施工段階

- ・週休2日の実施状況は関係書類(日報、出勤簿、作業日誌、安全日誌等)により確認する。
- ・現場閉所の状況に応じ、労務費、機械経費、間接工事費を補正する。

完成後

- ・工事監督員は、関係書類(日報、出勤簿、作業日誌、安全日誌等)により休日の取得状況を確認し、工事施行成績評価において適切に評価を行う。
- ・受注者(下請業者含む)はアンケート調査に協力する。

○週休2日で施工する場合、現状より工期が長くなり、安全施設のリース代等を含む共通仮設費や現場技術者の給与等を含む現場管理費、機械経費が官積算の計上額とがかい離する可能性がある。

○間接工事費について最新の施工実態をふまえ見直しを行うとともに、機械経費や労務費について、週休2日の実施に伴い必要となる経費を適切に計上できるように補正を行う。

【補正係数(土木工事の場合)】(令和2年(2020年)3月1日以降入札工事)

	4週6休	4週7休	4週8休以上
労務費	1.01	1.03	1.05
機械経費(賃料)	1.01	1.03	1.04
共通仮設費	1.02	1.03	1.04
現場管理費	1.03	1.04	1.06

改定概要

下水道(管路)工事

下水道(管路)工事の市場単価について週休2日の補正対象とし、現場閉所の実施状況に応じた補正係数を適用。

令和3年(2021年)8月1日以降に入札を行う工事より適用

市場単価補正一覧

名 称	規格・仕様	補正係数		
		4週6休以上、 4週7休未満	4週7休以上、 4週8休未満	4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
リップ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
砂 基 礎 工	人力施工	1.01	1.03	1.05
砂 基 礎 工	機械施工	1.01	1.03	1.05
砕 石 基 礎 工	人力施工	1.01	1.03	1.05
砕 石 基 礎 工	機械施工	1.01	1.03	1.05
組立マンホール設置工		1.01	1.03	1.05
小型マンホール工		1.00	1.00	1.01
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.01
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1.00	1.01	1.02

改定概要

空港工事

空港工事及び航空灯火電気設備工事の市場単価等について週休2日の補正対象とし、現場閉所の実施状況に応じた補正係数を適用。

令和3年(2021年)8月1日以降に入札を行う工事より適用

空港工事 市場単価補正一覧

※灯火電気設備工事の市場単価等については、週休2日モデル工事実施要領による。

名称	区分	補正係数		
		4週6休以上、 4週7休未満	4週7休以上、 4週8休未満	4週8休以上
鉄筋工		1.01	1.03	1.05
ガス圧接工		1.01	1.02	1.04
インターロッキングブロック工	設置	1.00	1.01	1.02
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工 (ガードレール)	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工 (ガードパイプ)	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工 (横断・転落防止柵)	設置	1.01	1.03	1.04
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工 (落石防護柵)		1.00	1.01	1.02
防護柵設置工 (落石防止網)		1.01	1.02	1.03
道路標識設置工	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去・移設	1.01	1.03	1.04
道路付属物設置工	設置	1.00	1.01	1.02
	撤去	1.01	1.03	1.05

名称	区分	補正係数		
		4週6休以上、 4週7休未満	4週7休以上、 4週8休未満	4週8休以上
法面工		1.00	1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.02	1.03
鉄筋挿入工 (ロックボルト工)		1.01	1.02	1.03
道路植栽工	植樹	1.01	1.03	1.05
	剪定	1.01	1.03	1.05
公園植栽工		1.01	1.03	1.05
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.00	1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.01	1.02	1.04
橋面防水工		1.00	1.01	1.02
薄層カラー舗装工		1.00	1.00	1.01
グルーピング工		1.00	1.01	1.01
軟弱地盤処理工		1.00	1.01	1.02
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)		1.00	1.01	1.01